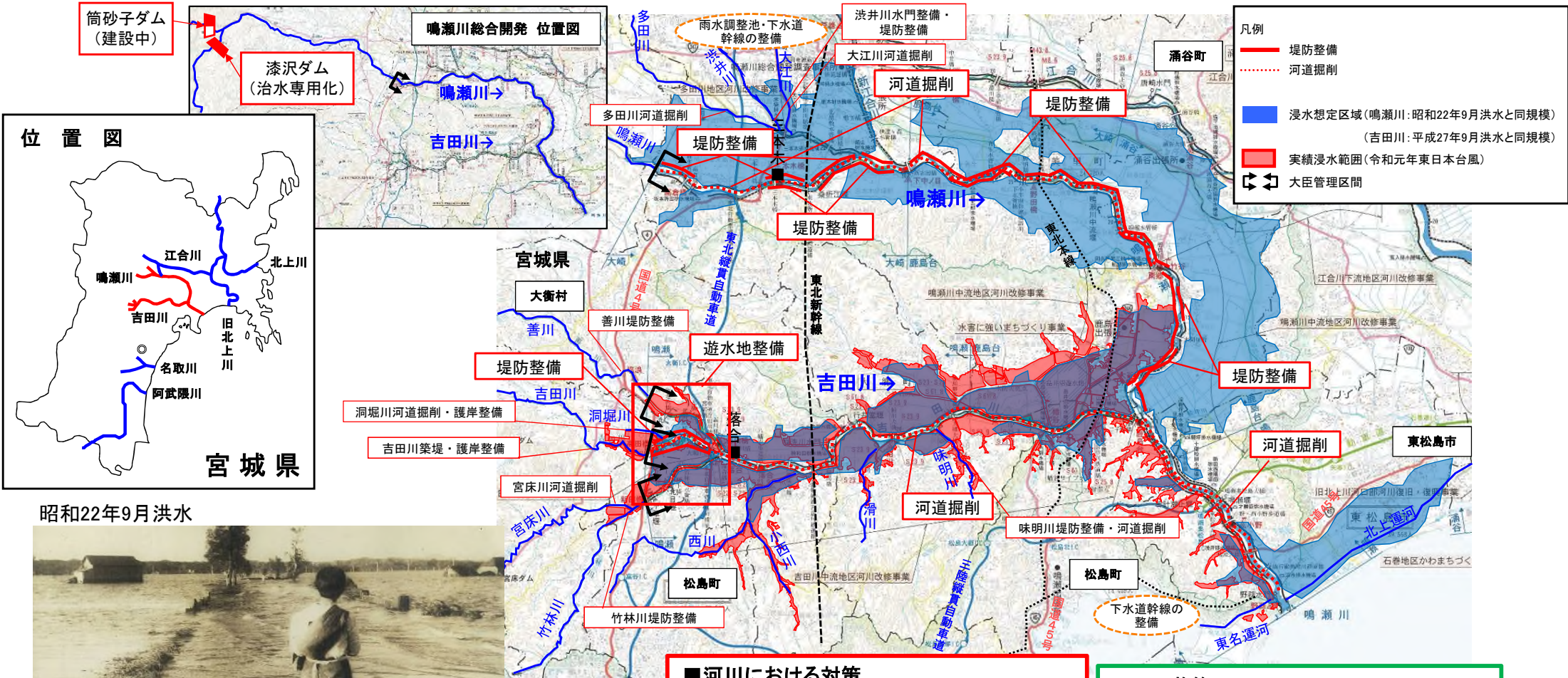


鳴瀬川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

～昭和22年カスリン台風・令和元年東日本台風における再度災害防止に向けた治水対策の完遂～

○ 令和元年東日本台風で甚大な被害が発生した鳴瀬川水系では、吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクトに加え、以下の取組を実施していくことで、国管理河川においては、昭和22年9月カスリン台風（鳴瀬川：戦後最大）と同規模の洪水に対して安全に流下させ、令和元年東日本台風洪水（吉田川：戦後最大）と同規模の洪水に対しては堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



昭和22年9月洪水



■河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備、遊水地整備、筒砂子ダム建設、漆沢ダム治水専用化 等

■流域における対策

・利水ダム等8ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(国、宮城県、土地改良区など)
・適正な土地利用の規制誘導
・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
・下水道整備(雨水調整池、幹線整備) 等
※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト施策

・簡易型河川監視カメラの設置
・災害リスクの現地表示箇所の拡大を促進
・ダム堰の効果・操作に関わる情報の周知
・地域別情報発信手法の構築
・マイ・タイムライン普及促進
・要配慮者サポーターの育成
・水防資機材の拡充 等
※今後、関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。